

2019 年度 日本線虫学会 第 27 回大会

会期 2019 年 9 月 11 日 (水) ~13 日 (金)

大会会場 文部科学省研究交流センター
(茨城県つくば市竹園 2-20-5 TEL : 029-851-1331)
国際会議場 (総会、口頭発表、フラッシュトーク、公開シンポジウム)、
ラウンジ (ポスター発表)、第 1 会議室 (評議員会、編集委員会)

懇親会会場 つくば国際会議場内レストラン「エスポワール」
(茨城県つくば市竹園 2-20-3 TEL : 029-850-3266)

大会日程

9 月 11 日 (水)

評議員会、編集委員会	9 : 0 0 ~ 1 2 : 0 0
受付	1 2 : 0 0 ~
総会	1 3 : 1 5 ~ 1 3 : 4 5
一般講演 (口頭発表)	1 4 : 0 0 ~ 1 6 : 3 0

9 月 12 日 (木)

受付	8 : 3 0 ~
一般講演 (ポスター発表)	9 : 3 0 ~ 1 1 : 3 0
一般講演 (口頭発表)	1 3 : 0 0 ~ 1 3 : 4 5
公開シンポジウム	1 4 : 0 0 ~ 1 6 : 3 5
懇親会	1 8 : 0 0 ~ 2 0 : 0 0

9 月 13 日 (金)

受付	8 : 3 0 ~
一般講演 (口頭発表)	9 : 3 0 ~ 1 1 : 4 5
一般講演 (口頭発表)	1 3 : 0 0 ~ 1 4 : 1 5

大会プログラム

9月11日(水)

総会 13:15-13:45

一般講演(口頭発表)

- O01 14:00-14:15 ○富田 陸¹・浴野 泰甫¹・神崎 菜摘²・新屋 良治^{1,3} (¹明治大・²森林総研関西・³JST さきがけ) Aphelenchoididae 科線虫における乾燥耐性メカニズム
- O02 14:15-14:30 ○堀江 洋成¹・浴野 泰甫¹・神崎 菜摘²・新屋 良治^{1,3} (¹明治大・²森林総研関西・³JST さきがけ) 捕食性線虫 *Seinura caverna* における孵化幼虫の飢餓に対する適応戦略
- O03 14:30-14:45 ○浴野 泰甫¹・神崎 菜摘²・新屋 良治^{1,3} (¹明治大・²森林総研関西・³JST さきがけ) 捕食性線虫 *Seinura caverna* の共食い回避機構
- O04 14:45-15:00 ○新屋 良治¹・Pei-Yin Shih²・James Shiho Lee²・神崎 菜摘³・Amir Sapir⁴・Paul W Sternberg² (¹明治大 & JST さきがけ・²Caltech・³森林総研関西・⁴Univ. Haifa) 極限環境の湖に生息する線虫は高度ヒ素耐性を示す

休憩 15:00-15:15

- O05 15:15-15:30 ○武田 藍¹・福田 寛¹・豊田 剛己² (¹千葉農林総研・²東京農工大) 千葉県における緑豆すきこみによるエダマメのダイズシストセンチュウ防除の試み
- O06 15:30-15:45 ○細井 昂人¹・内山 博允²・佐々木 康幸¹・矢嶋 俊介^{1,2}・伊藤 晋作¹ (¹東農大バイオ・²東農大生物資源ゲノム解析センター) ダイズシストセンチュウの宿主認識に關与する遺伝子の探索
- O07 15:45-16:00 ○坂田 至¹・串田 篤彦¹ (¹農研機構北農研) ジャガイモシロシストセンチュウ卵内におけるハウスキーピング遺伝子の発現量：生存個体検出技術の開発に向けて
- O08 16:00-16:15 ○酒井 啓充¹・串田 篤彦¹・奈良部 孝¹ (¹農研機構北農研) ジャガイモシストセンチュウ類のマルチプレックス PCR 診断とキャリアオーバー汚染防止
- O09 16:15-16:30 ○Gaspard, Jerome T.¹ (¹Nematenken Co. Ltd.) Baermann funnel and sugar centrifugal flotation extraction with cream cleanser.

9月12日(木)

一般講演(ポスター発表)

9:30- 9:55 フラッシュトーク (P02、P08、P09、P10、P11)

10:00-10:45 奇数番号コアタイム

10:45-11:30 偶数番号コアタイム

- P 01 石島 栄香¹・○浅川 満彦¹ (¹酪農大獣医) 国内 *Macaca* 属サル類に寄生する線虫類の地理的分布 – 特に、最近実施した東北・四国地方での野生種と輸入サル類の調査研究から
- P 02 小池 悠斗¹・○盛 雨夢¹・小澤 壮太²・相川 拓也²・長谷川 浩一¹ (¹中部大・²森林総研東北) 卵胎生線虫の糞虫便乗嗜好性と広域分布
- P 03 ○小野 雅弥^{1,2}・早川 洋一^{1,2}・吉賀 豊司^{1,2} (¹佐賀大・²鹿児島連大) 非寄生性線虫は昆虫血球の活性化を遅らせる
- P 04 Ozawa, S.¹, Nakano, K.², Koike, Y.³, Subramani, R.⁴, Aikawa, T.¹, ○ Hasegawa, K.³ (¹FFPRI Tohoku, ²Minato City, Tokyo., ³Chubu Univ., ⁴USP, Fiji) Host range expansion of the parasitic nematode *Leidynema appendiculatum* exhibiting broad infectivity in invasive cockroach host.
- P 05 ○足立 湧樹¹・○桑原 大芽¹・白澤 健太²・平川 英樹²・岩堀 英晶¹・浅水 恵理香¹ (¹龍谷大・²かずさ DNA 研) サツマイモネコブセンチュウの感染関連遺伝子探索のためのゲノム配列
- P 06 ○小林 尚斗¹・○田中 綜¹・岩堀 英晶¹・浅水 恵理香¹ (¹龍谷大) 土壌中の線虫 DNA の検出
- P 07 ○杉田 慶敬¹・吉賀 豊司¹ (¹佐賀大農) 生態的特性の異なる線虫種間の低酸素/無酸素耐性の比較
- P 08 ○鈴木 康平¹・北上 雄大¹・松田 陽介¹ (¹三重大院生物資源) スギ地上部の異なる器官、基質に分布する線虫の群集構造
- P 09 浜口 昂大¹・○侯 哲¹・長谷川 浩一¹ (¹中部大) マリーゴールド抽出物 α -terthienyl の殺線虫活性と *Caenorhabditis elegans* の GST 発現異常変異体の表現型との関係
- P 10 ○渡部 就¹・綱島 彩香¹・糸山 亨¹・新屋 良治^{1,2} (¹明治大農・²JST さきがけ) 果樹カメムシ類に寄生するシヘンチュウの調査
- P 11 ○青木 健悟¹・細井 昂人¹・矢嶋 俊介¹・佐々木 康幸¹・伊藤 晋作¹ (¹東農大バイオ) ダイズシストセンチュウにおける GEA による孵化応答時期の探索
- P 12 ○栗原 花怜¹・大和田 恭子¹・青井 透¹ (¹群馬高専) バイオマス活用型土壌改良資材投入によるヤマトイモ圃場の線虫の解析

※ 講演番号は、若手研究者ポスター賞のエントリーを示す

昼食 11:30-13:00

一般講演（口頭発表）

- O10 13:00-13:15 ○伊藤 賢治¹・松下 航²・奈良部 孝¹（¹農研機構北農研・²カゴメ（株）） ジャガイモシストセンチュウ類抵抗性加工用トマト品種
- O11 13:15-13:30 ○串田 篤彦¹・坂田 至¹・谷野 圭持²（¹農研機構北農研・²北海道大） ふ化促進物質に対するジャガイモシストセンチュウ類国内個体群のふ化反応性の年内変動
- O12 13:30-13:45 ○奈良部 孝¹・吉田 穂積²・串田 篤彦¹・谷野 圭持³（¹農研機構北農研・²東京農大・³北海道大） 由来の異なる3種ふ化促進資材に対するジャガイモシストセンチュウ類のふ化反応性の差異

会場準備 13:45-14:00

公開シンポジウム「シストセンチュウ、ネコブセンチュウ、アブラナ科根こぶ病菌の共通点を探る」

- S01 14:00-14:15 岡田 浩明（農研機構中央研） シストセンチュウ、ネコブセンチュウ、アブラナ科根こぶ病菌の共通点を探る（イントロダクション）
- S02 14:15-14:40 上杉 謙太（農研機構九沖研） ネコブセンチュウの生態と防除
- S03 14:40-15:05 浅水 恵理香（龍谷大） サツマイモネコブセンチュウゲノム解読で見えてきたこと

休憩 15:05-15:20

- S04 15:20-15:45 中西 充（香川農試） 土壌の健康診断に基づくブロックリー根こぶ病管理
- S05 15:45-16:10 伊藤 真一（山口大） 新興アブラナ科野菜根こぶ病菌の病原性および遺伝系統解析

総合討論 16:10-16:35

公開シンポジウム終了後に懇親会会場に移動

懇親会（若手研究者ポスター賞の表彰） 18:00-20:00

9月13日（金）

一般講演（口頭発表）

- O13 9:30-9:45 澤之向 大希¹・小刀称 優光¹・長谷川 浩一¹（¹中部大） 線虫 *Oscheius* sp. KHA501 と随伴細菌 *Serratia marcescens* の関係と昆虫病原性について
- O14 9:45-10:00 ○北上 雄大¹・谷川 東子²・松田 陽介¹（¹三重大院生物資源・²名古屋大院生命農学） スギ人工林の微小生息環境が線虫群集構造に及ぼす影響

O15 10:00-10:15 ○桐野 巴瑠¹・吉本 光希¹・小長谷 賢一²・新屋 良治^{1,3} (1 明治大・² 森林総研・³JST さきがけ) マツノザイセンチュウ分泌タンパク質に関するクロマトゲルを用いた機能解析

O16 10:15-10:30 ○Kanzaki, N.¹, Ekino, T.² and Giblin-Davis, R. M.³ (¹Kansai Res. Ctr., FFPRI, ²Meiji Univ.,³Univ. Florida) Feeding dimorphism in *Bursaphelenchus sinensis*.

休憩 10:30-10:45

O17 10:45-11:00 ○Nagae, S.¹, Morffe, J.², Tanabe, T.³, Hasegawa, K.¹ (¹Chubu Univ, ²Inst. Ecol. Sistem. Cuba, ³Kumamoto Univ.) Symbiosis of the two parasitic nematodes in millipede, Rhigonematidae and Travassosinematidae with evolutionary different origin.

O18 11:00-11:15 ○越智 翔大¹・中垣 俊之^{2,3}・佐藤 勝彦^{2,3} (1 明治大院農・² 北海道大電子研・³ 北海道大ソフトマター) *Caenorhabditis elegans* の社会性集合と行動的機序

O19 11:15-11:30 ○浜口 昂大¹・長谷川 浩一¹ (1 中部大) マリーゴールド由来殺線虫物質 α -terthienyl の分子遺伝学的作用解析

O20 11:30-11:45 ○門田 康弘¹・佐藤 一輝¹・植原 健人²・石濱 伸明¹・飯野 絵里香^{1,3}・榎 紀子¹・鈴木 孝征⁴・白須 賢^{1,3} (1 理研 CSRS・² 農研機構中央研・³ 東京大・⁴ 中部大) センチュウに対する植物の免疫機構の解明

昼食 11:45-13:00

一般講演 (口頭発表)

O21 13:00-13:15 ○深山 敦司¹・新屋 良治^{1,2} (1 明治大・²JST さきがけ) 光強度は *Meloidogyne incognita* のオス出現に影響する

O22 13:15-13:30 ○佐藤 一輝¹・門田 康弘¹・Pamela Gan¹・植原 健人²・尾納 隆大³・山口 勝司³・村田 岳⁴・上杉謙太⁴・齊藤 猛雄⁵・榎 紀子¹・重信 秀治³・M. Shahid Mukhtar⁶・白須 賢^{1,7} (1 理研 CSRS・² 農研機構中央研・³ 基生研・⁴ 農研機構九沖研・⁵ 農研機構野花研・⁶ アラバマ大バーミンガム校・⁷ 東京大) ネコブセンチュウエフェクターの探索と機能解析

O23 13:30-13:45 ○大畑 慎一郎¹・牛島 幸一郎¹・田淵 宏朗²・田原 誠¹・門田 有希¹ (1 岡山大・² 農研機構九沖研) サツマイモネコブセンチュウ抵抗性に関する遺伝子発現解析

O24 13:45-14:00 ○諏訪 順子¹・清水 舞²・菅 京子¹・荒木田 尚広¹・西中 未央³・片山 健二³・西宮 智美¹ (1 茨城農総セ農研・² 茨城県央農林・³ 農研機構作物研) サツマイモネコブセンチュウ抵抗性サツマイモ新系統の栽培による線虫被害低減効果

O25 14:00-14:15 ○立石 靖¹・植原 健人¹ (1 農研機構中央研) 造形樹及びその苗木の主要な生産地におけるオオハリセンチュウの発生状況